

2025年7月10日
イオン株式会社

「CDP 気候変動対策」での最高評価Aリストに続き 「サプライヤー・エンゲージメント評価」でも最高評価を獲得



イオンは、国際的な環境情報開示を行う非営利団体 CDP より、サプライヤー・エンゲージメント評価※（Supplier Engagement Assessment : SEA）において最高評価を獲得し、「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。

当社は、店舗運営での電力使用や物流における燃料使用など、事業活動を通じて地球温暖化に影響を及ぼしていることを認識し、脱炭素社会の実現を重点課題と位置付けています。いち早く具体的なCO2排出量削減目標を定め、企業としての成長と両立しながら温室効果ガス削減に取り組んでいます。店舗での使用電力の削減に加え、再生可能エネルギー（再エネ）の調達拡大にも注力しており、自社敷地内外での太陽光発電の活用や、お客さま宅で発電された余剰再エネを店舗で活用するなど、さまざまな施策を通じて脱炭素を推進しています。

こうした取り組みの結果、2023年12月時点でイオンの国内事業所における再エネ調達量は3,706百万kWhに達し、国内店舗で使用する電力の約55%を再エネでまかなうことが可能となりました。これにより、「イオン 脱炭素ビジョン」で掲げた2030年までの中間目標を、7年前倒しで達成しました。

世界全体で脱炭素社会への移行が進む中、サプライチェーン全体での温室効果ガス削減は国際的な標準となり、企業に求められる社会的責任も高まっています。イオンはサプライチェーン全体のCO2排出量の多くを占める、商品製造段階の排出管理・削減にも着手しており、プライベートブランド「トップバリュ」の主要な製造委託先さまとのコミュニケーションを強化しています。

気候変動対策の進捗確認や、サプライチェーン全体での削減計画の策定を検討するなど、製造過程におけるCO2排出量の可視化および削減に向けた企業間連携を継続的に進めています。

今後も、イオンはサプライヤーとの協働を通じて、脱炭素社会の実現に向けた取り組みをさらに加速いたします。

※サプライヤー・エンゲージメント評価（Supplier Engagement Assessment : SEA）

CDP 気候変動質問書（完全版）に回答した企業に、通常の気候変動スコアに加えて、サプライヤー・エンゲージメント評価（SEA）に基づくスコアが付与され、最高評価を獲得した企業がサプライヤー・エンゲージメント・リーダーに選ばれます。SEAは、企業が気候変動課題に対してどのように効果的にサプライヤーと協働しているかを評価するもので、CDPは、気候変動質問書の中から、ガバナンス・目標・スコープ3排出量・バリューチェーンエンゲージメントのカテゴリーにおけるいくつかの質問においてスコアリングします。

<関連リリース> 2025年2月6日 発信

https://www.aeon.info/wp-content/uploads/news/pdf/2025/02/250206R_1_1.pdf